

2015/16 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



世界へのプレゼントになろう

第 2546 回例会 2016 年 5 月 18 日 (水) SAA (司会) / 山本会員 会報担当 / 伊藤会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング 我等の生業
- お客様 小湊鐵道株式会社 社長 石川晋平様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正



先週実施いたしました青葉台さわやかネットワークさんとの JR3 駅と上総牛久駅のさわやか挨拶運動の 4 日間。会員の皆さんと多くの諸団体のご理解とご協力を賜り、大盛況のうち、事故もなく無事に終了することができました。ありがとうございました。小さなアクションではありますが、市原市から千葉県に、そして全国に広がっていくように、今後も継続していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

先週の土曜日、市原中央高校インターアクトクラブ 11 名、担当の先生 2 名と当クラブ会員 12 名、総勢 25 名、東京ドイツ村で交流 B.B.Q を行ってきました。日頃のインターアクトクラブのボランティア活動、特に自分たちの学校の乗降駅の上総山田駅周辺の美化運動、草花の植栽は地域の皆さんにも認められるほどの活動ぶりです。またエコキャップ・コンタクトレンズの回収などでも RC と一緒になって活動しています。そんな日頃の活動のご褒美とでもいいますか、RC からの活動用ジャンパーと T シャツの贈呈式等もあり、RC の皆さんに「とても感謝しています。さらに活動を活発にしていきます」よろしくお伝えくださいと言っていました。ビンゴゲームや伝達一筆書きアトラクションで笑い声が絶えない、大変盛り上がった交流会になりました。その様子は青少年小委員会の今井小委員長からのメールでもご紹介していますので、ご覧になってください。次年度はこちらから PJ に派遣する年になります。例年観光が主になりがちの派遣ですが、次年度からは RC からきちんとしたテーマを課しての派遣留学にしようと思っています。このように今の段階で派遣生徒とも交流が持てるのも今後の進行にとっても大切なこ

とだと思います。インターアクトクラブにも我々 RC メンバも活動用ジャンパーとポロシャツを着てどんどん参加していきたいと思いますので、是非一緒に汗をかいり、文化祭に参加したり、例会出席したりともっと交流を深めていきたいものです。

本日のメインプログラムは『小湊鐵道の石川社長』をお招きしての「小湊鐵道 99 歳 新たな里おこし」というテーマで卓話いただきます。毎週末トロッコ列車が牛久駅から養老溪谷駅までの間、哀愁のある汽笛を響かせながら、沢山の乗客を乗せて、山里の景色を映しながら走っています。ここに至るまでには相当のご苦労があったと聞いております。話しきれない時間ではありますが、石川社長の描いている「里おこし」の構想をお話しいただけたらなと思っています。後ほどの、卓話よろしく願いいたします。



新会員の杉井会員へ万崎会長からロータリーバッジの授与

◆◆◆◆◆ 幹 事 報 告 ◆◆◆◆◆

- ・次回例会は新旧ガバナー補佐来会です。
- ・市川南 RC より 40 周年の案内が来ています。

◆◆◆◆◆ 委 員 会 報 告 ◆◆◆◆◆

三宅会員

あいさつ運動へのご協力ありがとうございました。のべ 41 名のご参加をいただきました。

本日のメインプログラム

「誕生月卓話」

小湊鐵道株式会社 代表取締役社長 石川晋平様



石川社長の卓話資料は次ページに掲載いたしました。

斉藤博会員

誕生日のお花ありがとうございます。白鳥さんがお見舞い方々お花を届けに来てくださいました。元気になりましたらまた、みんなの顔を見に伺います。

山本会員

三宅さん、あいさつ運動の写真ありがとうございます。

杉井会員

この度、市原ロータリークラブへ入会させて頂きました。今日が例会デビューです。後日、自己紹介の機会がありましたら詳しくお話したいと思います。どうぞご指導のほどよろしくお願い致します。

万崎会長 平野幹事

石川社長ありがとうございます。里山から地方創生力を合わせて成し遂げましょう。

■出席報告 前々回確定 80.56% 本日出席27 名
欠席14 名 本日出席率 81.58%

■点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正

平成 27 年 8 月 31 日

この度は、里山トロッコ計画の発表会へご来場いただき誠に有難うございます。私たち小湊鐵道は生まれて 98 歳になりました。ずいぶんと年月が経った老舗ととらえることもできますが、昔から「100 年はやいぞ！」などと云われるように、まだまだたったの 100 年、ようやくスタートラインに立てるかなあという思いで今をとらえています。

なぜならば、私たちの生活するこの地には大勢の先哲たちがいるからです。命の川 養老川、クヌギ・ナラなど落葉樹、そこに集まる鳥や虫たち、縄文の時代からの人の営み、その全てを分け隔てなく一つとして捉え、和して生きていくという生活の知恵の結晶、すなわち里山文化がこの地にはあるのです。

私たち小湊鐵道は里山文化を担う一員として、先哲たちへの敬意とその恩恵を楽しみなが未来へつないでいく、道先案内人として里山トロッコ計画にいたり近日、スタートすることにいたします。

懐かしい未来、五感で楽しんでください！

1. 会社概要

緑の木立にかこまれ、川のせせらぎを聞いていると、おだやかな心地になるのはなぜでしょう。私たちの先輩、縄文人が頬に感じていた爽やかな風を今も感じるからです。

7,000 年の昔、先住民族がこの川の鮭、鱒を追って遡上し生活したと言われる養老川中流の浅間山洞窟、最上流の会所、麻綿原の遺跡。時代は下り養老川流域には多くの集落が形成され舟運が盛んになり、川は生活に欠くことのできない重要な交通路となりました。

その後文明開化を向かえ西洋文明が流入すると養老川流域にも鉄路を敷設しようと計画が持ち上がり、大正 6 年 5 月 19 日、かつて佐倉藩の御用港として栄えた千葉郡千葉町寒川（現、千葉市中央区）に本社を置き、養老川流域の振興と、日蓮宗の大本山安房小湊誕生寺への参詣輸送を目的として小湊鐵道が設立され、五井から安房小湊までの約 55 キロを 4 工区に分け段階的に工事が進

められました。

大正 14 年 3 月 7 日、第一期線の五井一里見間が開業、次いで大正 15 年 9 月に第二期線として黒田家三万石の城下町久留里の最寄り駅である月崎、さらに昭和 3 年 5 月に第三期線として月崎ー上総中野間が延伸開業しました。

その後も第四期線として上総中野ー安房小湊間の工事も進められましたが、房総線（現、外房線）の安房鴨川全通による社会情勢の変化等から工事を中断、現在のところ上総中野が終点となっています。

鉄道施設の多くが開業当時の姿をとどめ、建設に携わり、「洋館の鹿島」と謳われた当時の鹿島組（現、鹿島建設）の意匠を随所に見ることが出来ます。

旅客輸送最高実績 昭和 48 年度 年間 433 万人

平成 26 年度 年間 125 万人

2. 里山トロッコの動機と目的

里山は自然の恵みに感謝し、人々が豊かにくらす日本人のこころのふるさとはです。そんな小湊鉄道沿線の中をある春の日、軌道バイク（保線作業用に改造したバイク HONDA125CC）に乗って走りました。それは土地の風を感じ、お日様をうけ、野焼きの匂いを・・・五感フル活動！忘れかけていた人間的感覚を伴う、とびきりパーソナルな、自分と里山が一つになる不思議なひと時でありました。

その感覚を、みなさんにも味わってほしい！そして、お日様を遮る天井をガラス張りに！風を遮る窓を取り外し！先頭の機関車には、その昔小湊線で活躍した独コッペル社製 C 型 SL を現代版（クリーンディーゼルエンジン搭載）で蘇らせました。

3. 里山トロッコ概要

① 車両

○ 4 号機関車 大正 12 年製の C 型コッペル蒸気機関車を環境に配慮したクリーンディーゼルで現在に復元。

全長 8,450mm 全幅 2,850mm 全高 3,500mm

世界的な第三次ディーゼルエンジン排出ガス規制（Tier3）を

クリアしたボルボ社製 348PS を搭載

- 客車 クハ 101 ハテ 101、102 ハフ 101 の 4 両編成で定員は 144 名、展望車ハテは開放感たっぷりの窓なし車両で、太陽の陽射しが差し込む天窓は UV カットです。

*養老溪谷行の下りは機関車が先頭、里見・上総牛久行の上りはクハ（運転台付制御客車）を先頭に機関車が最後部より推進を行います。

- ② 区間 里見－養老溪谷間 9.2km 約 30 分

当面は暫定的に上総牛久－里見－養老溪谷間 18.5km 約 54 分

*スピードはゆ〜っくり、通常列車の約半分時速 30 km 弱でスローな旅を！

- ③ 運行日 12 月下旬から 3 月上旬を除く各月土休日及び指定日等年間約 180 日間運行 平日は 2 往復、土休日等は 3 往復を予定しております。

- ④ 料金 普通運賃＋トロッコ料金（未定）

- ⑤ 運行開始予定日 平成 27 年 11 月ごろを目途

- ⑥ 見所

○養老川川廻し跡（里見－飯給間）

※千葉県の上総南部の丘陵を流れる川でみられ、狭い山域で水田の用地を得るためなどの目的で行われた特殊な河川曲流短絡工事です。

○飯給駅 藤本壮介作 世界一大きいトイレ

※2012 年イタリアヴェネチア・ビエンナーレ第 13 回国際建築展 金獅子賞を受賞した国際的な建築家

○月崎－上総大久保間 沿線の方々のご協力を頂いた花畑

○上総大久保－養老溪谷 養老川第四橋梁 石神菜の花畑

○区間全線に渡って点在する切通し（きりどおし）

※切通しとは、山や丘などを掘削し、人馬の交通を行えるようにした道である。トンネル掘削技術が発達していなかった明治時代以前には、切り立った地形の難所に道路を切り開く手段として広く用いられた。

○素掘りのトンネル（飯給－月崎間等）

※房総半島の地質が比較的厚い砂岩と薄い泥岩からなる互層で、岩石としては非常にもろいため、このような素掘りのトンネルを可能とした。

○暫定運行延長区間である上総牛久－里見間は長閑な田園風景を走ります。

○関東の駅百選に選ばれた上総鶴舞駅

4. 地元との共生

地元にはこの土地を愛で、里山文化を守ろうと活動される方々及び団体が数多くあります。私たち小湊鉄道もその一員として活動を共にしています。本トラック計画も地元との協同プロジェクトとして、共に楽しみ、共に育てていこうと考えています。今までの協同プロジェクト例のほんの一部を下記に・・・。

○花プロジェクト

平成 17 年から市原市主催で毎年、地域活動団体や市民の皆様のご協力によりまして小湊鉄道沿線に菜の花の種蒔きをして頂いています。

○イルミネーション列車

平成 21 年から始まったイルミネーションで装飾された列車に乗りながら、各駅舎のイルミネーションを楽しむ市原市主催の企画です。

各駅舎の飾り付けは地域の団体の皆様にご協力いただき、多くの方々との協働により開催されています。

○歌声列車

平成 21 年より運行している人気企画列車です。車内では昭和を歌う会の皆様により五井－上総中野往復約 3 時間があったという間の盛り上がりです。

○駅喫茶（里見駅）

喜動房倶楽部の皆さんが地元を元気にしようと活動頂いています。

○月崎－上総大久保間の沿線整備

その昔県道であった場所をトラックの見所として再整備しよう！とこの夏に総勢 100 名以上が集い、整備をスタートしました。

○地域の新聞

伝心柱や加茂里山通信

○中房総国際芸術祭

2014 春、第 1 回目として行われました。アートトリエンナーレとして 3 年毎の開催を計画しております。

東京日帰り里がえり

SATOYAMATOROCCO

窓なし、天井ガラス張りのトロッコ客車とクリーンディーゼル機関の
SL型機関車がけん引します。行先は " 里山 "



平成 28 年トロッコ運転予定日

青白抜き文字 = 平日ダイヤ 2 往復運転
赤 文 字 = 休日ダイヤ 3 往復運転
丸に緑文字 = 休日減便ダイヤ 2 往復運転
(5号.6号運休 (裏面参照))

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	③	④	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
④	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

トロッコ列車専用ダイヤル 0436-23-5584

ホームページ <http://www.kominato.co.jp/satoyamatorocco/index.html>

平成 28 年 里山トロッコ列車の運転



ご予約方法とご乗車方法

受付専用電話にお掛けし、乗車希望日時、及び希望車両、人数をお知らせ下さい。受付が終了しますと予約番号をお知らせいたしますので、御控えの上、乗車日に駅係員にご提示ください。

■受付開始日：乗車日の1ヶ月前より2日前まで。インターネット及び下記の電話にて。但し、初回の受付は2/25日より

■専用受付電話：0436-23-5584

■受付時間：10：00～16：00

運行時刻表

■平日	上総牛久	里見	養老溪谷
1号	10:19	→10:50	→11:20
2号	12:28	←12:02	←11:32
3号	12:48	→13:19	→13:49
4号	14:54	←14:28	←13:58

■土休日	上総牛久	里見	養老溪谷
1号	8:29	→9:00	→9:30
2号	10:38	←10:13	←9:43
3号	11:33	→12:04	→12:34
4号	13:42	←13:16	←12:46
5号	14:02	→14:33	→15:03
6号	16:11	←15:45	←15:15

運賃表（上段片道運賃・下段往復運賃）

上総牛久	410	760
	720	1340
小人半額	里見	410
		720
		養老溪谷

トロッコ料金：一律 500 円

大人・こども同額 片道

お得な乗車券

小湊鐵道一日フリー券：1800 円

房総横断券・・・：1700 円



25 名様以上の団体は、下記までお問い合わせ下さい。

トロッコ列車専用ダイヤル 0436-23-5584

ホームページ <http://www.kominato.co.jp/satoyamatorocco/index.html>

 小湊鐵道株式會社